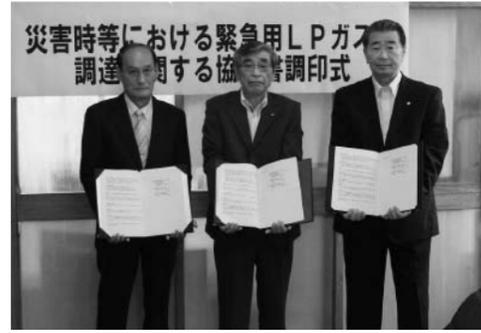


## 災害時の緊急用LPガスの調達を協定

六月四日、役場仁多庁舎で奥出雲町と島根県LPガス協会、同協会雲南支部による「災害時等における緊急用LPガスの調達に関する協定書」の調印式が行われました。

これにより、町内において重大な事故や災害が発生した場合、町の要請により同協会からLPガスや関連する燃焼器具等が提供されます。

同協会からは災害用炊き出しセットも寄贈されており、災害時の大きな課題である燃料の確保、食事の提供など大きな役割を果たします。



▲左から、山本陽一郎島根県LPガス協会副会長、勝田副町長、井谷憲治同協会雲南支部長

5月14日、第10回奥出雲町小学校連合体育大会が三成運動公園陸上競技場で開催されました。町内全小学校の3年生以上が参加し、トラックとフィールドで25種目の熱戦が繰り広げられました。児童たちは、この日に向けて練習してきた成果を発揮しようと一生懸命競技に参加しました。また、児童たちの頑張る姿に、各小学校の応援席や駆けつけた多くの保護者から熱い声援が送られました。児童にとって、自己記録への挑戦や他校との親睦を深めることのできた思い出に残る大会となりました。

# みんなでがんばった!



## 奥出雲町小学校連合体育大会

おおきくなつてもどつてきてね

## 斐伊川で稚アユの放流

魚が住めるきれいな川を守ろうと、横田公民館では毎年水辺の教室を開いています。

五月十四日、役場横田庁舎裏の斐伊川河川敷で、横田幼稚園の園児十五人が参加し、斐伊川漁協横田支部と横田地区婦人会の協力のもと、アユの稚魚二千匹を放流しました。

園児たちは「おおきくなつてもどつてきてね」とアユの成長

を願いながら放流し、元気に泳いでいくアユの姿を見つめています。

放流後、同支部会員でアユ獲り名人の飯田好三さんによる投網漁が披露されると、子どもたちから歓声が上がりました。

今後は小学生を対象に、斐伊川の水質検査や宍道湖の清掃などを行い、自然環境について学びます。



▶アユを放流する横田幼稚園の園児たち



▶飯田さんによる投網漁の披露

## 第2回 さくらおろち湖トレイルラン

4月27日、尾原ダム・さくらおろち湖ポート競技施設を発着点として、第2回さくらおろち湖トレイルランが開催され、10キロのショートコースと20キロのロングコースに県内外から約200人が参加しました。

「トレイルラン」は、整備された道路だけでなく、森や山中など未舗装の道を走る競技で、景色

を楽しみながら自然の中を走るのが魅力です。松江城鉄砲隊による火縄銃の号砲でスタートした今大会は、ダム湖から要害山山頂を目指し三沢の町を1周するコース設定。要害山の登山口にある「みざわの館」に設けられた休憩所では、地域住民が軽食や飲み物などで温かく迎えました。

また、沿道からもたくさんの声援が送られ、参加者は初夏のダム湖周辺の自然を満喫しながら力走しました。

来年4月26日、第3回大会の開催が決定しています。



▲スタートの様子



▲険しい山道を走る参加者